



著者プロフィール

下坂速穂（しもさか・すみほ）

1963年 4月8日静岡県生まれ。

1993年 「クンツァイト」入会。依光正樹に師事0

1994年 「屋根」入会。斎藤夏風に師事。

1997年 「屋根」新人賞受賞。

2003年 「月齢」30句で俳壇賞受賞。

現在 「屋根」同人、「クンツァイト」編集長
俳人協会会員

〈句集『眼光』より転載〉〈2012年8月1日時点〉

『眼光』

（自選15句）

下坂 速穂

終電のあとを貨車ゆく十三夜
落葉籠落葉を敷いて傾ける
影よりも人は小さく年用意
初稽古波打際を汚したる
安心といふ高さあり寒雀
恋をするうちは仕合せ毛糸玉
春泥にひとり遊びの子がふたり
夜はちがふ善き方をして春シヨール
金銀の銀の音する古巣かな
スリッパを幾度も揃へ夏館
鳴らしつつ探す風鈴吊るところ
夕焼けて鳴らんばかりの木となりぬ
止みし後も雨の音する夏木かな
くさはらを歩めば濡れて魂祭
木の下に人あらはなり霧の中